

プロパニル乳剤 スタム乳剤35	取扱メーカー： 日産 原体メーカー： UPL
成分： プロパニル〔アミド系〕……………35.0% その他 PRTR 該当成分： ドデシルベンゼンスルホン酸カルシウム〔PRTR・1種〕…6.0%	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類(水溶性)・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- 乾田直播水稲の入水前に使う茎葉処理除草剤。
- 雑草の生育初期に使うことで、幅広い種類の雑草を枯らせる。
- 枯れ残りやすい「ノビエ」「オオクサキビ」「クサネム」もしっかり枯らす。
- 各種雑草に対して、速効的な効果を発揮し、耐雨性も高い。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 本剤は、雑草の生育初期に有効なので、ノビエ3葉期までに時期を失しないように散布する。
- 落水条件で散布する場合には、散布する前日までに落水し、まきムラのないように均一に散布する。
- 散布後2日間は入水しない。入水後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 激しい降雨が予想される場合は使用をさける。
- 朝霧や降雨により葉がぬれている場合は使用をさける。
- 土壌処理効果がないので、後処理剤を使用する。
- 本剤処理後の田面水を他作物に灌水しない。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 雑草茎葉にかかるよう散布する。
- 適用作物(直播水稲)への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物(周辺作物、いぐさ、れんこん、せり、くわい)の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 特定の農薬(混用可能が確認されているもの)を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
- 有機リン系及びカーバメート系殺虫剤との混用及び近接散布は薬害を起こすのでさける。

【安全対策上の注意】……………

- 魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用法】……………

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		使用方法	本剤及びプロパニルを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量		
移植水稲	一年生雑草	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで	550～ 1100 ml	50 ℓ	乾田・落水状態で 雑草茎葉散布 又は全面散布	1回